

# 審査の概要

予算特別委員会 3/3・3/15  
 予算特別委員会分科会 3/4・3/8~10

## 議案49件を原案のとおり可決

予算特別委員会では、令和4年度一般会計予算をはじめとする議案49件について審査を行いました。委員会は、審査をより充実させるため、議長を除く全議員が委員となり、委員会内に各常任委員会が所管する事項と同様の事項を審査する総務・経済建設・民生の3分科会を設置し、付託案件を分担して審査しました。各分科会は、各議案について論点整理を行い、論点に基づく質疑により議案の疑義を解明した後、委員同士の協議によって議案の態度・賛否理由を取りまとめました。その後、委員会は各分科会から審査の経過と主な内容について報告を受け、採決を行いました。各分科会の主な審査過程は次のとおりです。

### 審査のながれ

- 3月3日 (付託・分科会設置)※
- 本会議
- 予算特別委員会
- 3月4日 (詳細審査)
- 総務分科会
- 経済建設分科会
- 民生分科会
- 3月8日
- 総務分科会
- 3月9日
- 経済建設分科会
- 3月10日
- 民生分科会
- 3月15日
- 予算特別委員会
- 本会議

※付託：議会の議決を要する事件について議会の議決に先だつて詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会、議会運営委員会、または特別委員会に審査を委託すること。

### 総務分科会

議案14件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和4年度函館市一般会計予算(総務分科会関係部分)

○(仮称) 函館市地域公共交通協議会

負担金

○デジタルAードリル運用経費

○学力向上非常勤講師配置事業費

○学級運営改善非常勤講師配置事業費

○通学バス運行経費補助金

○スケートボード等アーバンスポーツ

調査費

・事業の目的

・事業の効果

・今後の見通し

委員間の協議

議案第1号

○(仮称) 函館市地域公共交通協議会

負担金

人口減少と少子高齢化が厳しい中、

難しい計画を今後も考えていかなければならない。

協議会で関係者が自ら知恵を出し合い取り組んでいくということによし

したい。

計画策定にあたっては、市民にとつ

ていい形になるよう、利用者の意見を

反映させていただきたい。

グリーンスローモビリティは、環境

性能など多くのメリットがあるが、走

行場所などが限定されているようなの

で、慎重に進める必要があると思う。

○デジタルAードリル運用経費

生徒一人ひとりの理解度、学習状況

に対応し、これまでの学習活動の価値

も大事にしながら運用されるものと大

いに期待できる。

○学力向上非常勤講師配置事業費

○学級運営改善非常勤講師配置事業費

専門知識、指導技術を持った人を配

置することで、多くの課題に対応で

き、先生方の負担軽減につながるもの

である。

子どもたちを取り巻く環境が大きく

変化しているなか、しっかりと取り組ん

でいる。

子どもたちが安心して学べる教育に

つながる、よい事業だと思ふ。

○通学バス運行経費補助金

地域の実情を考慮した補助金である。

補助金については、今後も関係者と

協議を重ね、安全安心の通学確保のた

め、サポートしていくということによ

しとしたい。

○スケートボード等アーバンスポーツ

調査費

調査を行うことにより、アーバンス

ポーツに携わる人、携わらない人双方

にとってよい環境になるよう期待した

い。

調査の必要性などの理解が深まっ

た。事故防止などのため、決められた

場所で行うなどの仕組み作りも大事で

あり、しっかりと見守りたい。

などの理由で賛成。